



令和6年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和6年11月14日

上場会社名 GreenBee株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3913 URL https://www.greenbee.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 定則  
 コーポレートコントロ  
 問合せ先責任者 (役職名) 一ル本部長 (氏名) 杉山 了 (TEL) 03-6262-8660 (代表)  
 兼 経営企画室長  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年12月期第3四半期の連結業績(令和6年1月1日~令和6年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年12月期第3四半期	562	△3.5	10	—	13	166.9	15	—
5年12月期第3四半期	582	△2.0	△7	—	5	△65.6	△153	—

(注) 包括利益 6年12月期第3四半期 27百万円( —%) 5年12月期第3四半期 △146百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年12月期第3四半期	6.85	—
5年12月期第3四半期	△67.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
6年12月期第3四半期	1,242	1,139	91.7	488.65
5年12月期	1,189	1,064	89.4	471.56

(参考) 自己資本 6年12月期第3四半期 1,139百万円 5年12月期 1,064百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
6年12月期	—	0.00	—		
6年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年12月期の連結業績予想(令和6年1月1日~令和6年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	898	10.4	46	—	46	—	34	—	15.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
 新規 一社、除外 1社 sMedio America Inc.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

6年12月期3Q	2,348,521株	5年12月期	2,348,521株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

6年12月期3Q	16,471株	5年12月期	91,936株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

6年12月期3Q	2,274,577株	5年12月期3Q	2,254,362株
----------	------------	----------	------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(収益認識関係)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、不安定な国際情勢等による原材料価格の高止まりや、世界的な金融引き締めに伴う景気下振れリスク等、依然として先行きが不透明な状況が継続しております。一方で、AI、IoT、ビッグデータなどを活用して既存システムからの脱却や、新たなビジネスモデルの創出（DX:デジタルトランスフォーメーション）、気候変動や環境破壊の抑制を目指す再生可能エネルギーの導入（GX:グリーントランスフォーメーション）が急速に進んでおり、関連市場は良好な状況が続いています。

このような状況下において、当社は、「テクノロジーで社会を豊かにする会社」から「テクノロジーで持続可能な未来を築く会社」に変革していくため、令和6年4月1日より商号を「株式会社sMedio」から「GreenBee株式会社」へ変更しました。新たな分野での収益を確保すべく「GXサービス事業」を開始し、これまでの事業領域の区分を見直し、「テクノロジーライセンス事業」、「DXサービス事業」、「GXサービス事業」を展開しております。

当社グループの事業領域の概要は、下表のようになっております。

事業領域	テクノロジーライセンス事業	DXサービス事業	GXサービス事業
事業内容	競争力の高い自社テクノロジーIPをライセンスする事業	AIとシステムで情報活用可能なサービスをワンストップで提供する事業	お客様の脱炭素化に向けた取り組みに貢献するサービスをワンストップで提供する事業
顧客	デジタル家電メーカー、パソコンメーカー等	通信事業者・建設会社等	再生可能エネルギーを導入する企業等
主要製品・サービス等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4K/8Kプレミアムコンテンツ再生               <ul style="list-style-type: none"> <li>- Valution</li> <li>- TrueBD</li> </ul> </li> <li>・組込みブラウザ               <ul style="list-style-type: none"> <li>- tourbillon</li> </ul> </li> <li>・デバイス間高速データ転送・バックアップ               <ul style="list-style-type: none"> <li>- sMedio Data Transfer</li> </ul> </li> <li>・AIメイクアップアプリ               <ul style="list-style-type: none"> <li>- sMedio Beauty Camera</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドデータバックアップサービス               <ul style="list-style-type: none"> <li>- sMedio Cloud Backup</li> </ul> </li> <li>・建設DXサービス               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 切羽AI評価サービス</li> <li>- コンクリートAI評価サービス</li> <li>- 掘削サイクルAI解析サービス</li> <li>- 濁水処理AI解析サービス</li> </ul> </li> <li>・モバイルアプリ脆弱性診断サービス               <ul style="list-style-type: none"> <li>- RiskFinder</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EMS（エネルギーマネージメントシステム）</li> <li>・太陽光蓄電池システム               <ul style="list-style-type: none"> <li>- スマートデータロガー</li> <li>- 蓄電池</li> <li>- 太陽光発電モジュール</li> <li>- EV充電器</li> </ul> </li> </ul>

「テクノロジーライセンス事業」領域においては、開発売上が前年同期と比較して開発案件が減少したことに伴い、低調に推移した一方で、ライセンス売上は堅調に推移いたしました。また、富士通パソコンFMV 10月発表モデルに「スマホConnect」のライセンス提供を開始しました。令和6年12月期第4四半期からのライセンス売上に計上予定しております。

「DXサービス事業」領域においては、クラウドデータバックアップサービス「sMedio Cloud Backup」が、令和6年9月末時点の月間のリカーリング収益（MRR）\*1が、令和5年9月からの比較で、6.5倍となり大きな伸びを記録しました。有償サブスクリプション契約数は、期初計画では年末時点で80,000名を目標としていましたが、すでにその目標を上回り、令和6年9月末時点で91,631名に到達しております。建設DXサービスでは、岩田地崎建設株式会社に「インバート掘削打設管理サービス」を採用、株式会社 森組に「切羽AI評価サービス」を採用いただきました。累積採用企業社数は15社、累積採用トンネル数は56本となりました。

\*1 月間のリカーリング収益（MRR）とは、対象月の月末時点における継続課金ユーザーに係る月額料金の合計額のこと（一時収益は含まない）。MRRとはMonthly Recurring Revenueの略。

「GXサービス事業」領域は、当年度より新たに開始した事業で蓄電池システム関連からの収益を上げていくことに注力しております。当年度は事業基盤構築フェーズと位置付け、GX戦略パートナーとGX製品ラインナップの強化に取り組んでおります。令和6年7月12日に、太陽光発電開発の最大手企業であるウエストホールディングス株式会社（以下、ウエスト社）と資本業務提携契約を締結し、自家消費型太陽光発電の導入を検討している企業向けに最適な設備規模を提案するためのシステム、業務の効率化・見える化するための業務管理DXシステム、営業情報を蓄積し活用するためのシステム等、ウエスト社太陽光発電事業向けのシステムの共同開発を開始しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高562百万円（前年同期比3.5%減）、営業利益10百万円（前年同期は7百万円の営業損失）、経常利益13百万円（前年同期比166.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益15百万円（前年同期は153百万円の純損失）となりました。

（単位：百万円未満切捨て）

	前々第3四半期 連結累計期間	前第3四半期連結 累計期間	当第3四半期連結 累計期間	増減
売上高	594	582	562	△20
営業利益又は営業損失（△）	△7	△7	10	18
経常利益	15	5	13	8
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純 損失（△）	5	△153	15	168

## （2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産・負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

### ① 流動資産

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は1,174百万円であり、前連結会計年度末と比べ29百万円増加しました。これは主に、売掛金が63百万円減少、ライセンス費用の払い出し等により原材料が30百万円減少したものの、現金及び預金が107百万円増加、仕掛品が18百万円増加したことによるものであります。

（単位：百万円未満切捨て）

	前々連結会計年 度末	前連結会計年度末	当第3四半期連結 会計期間末	増減
現金及び預金	889	781	888	107
売掛金	181	215	152	△63
仕掛品	12	1	20	18
原材料及び貯蔵品	235	116	86	△30

### ② 固定資産

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は67百万円であり、前連結会計年度末と比べ22百万円増加しました。これは主に、投資有価証券が13百万円増加したことによるものであります。

### ③ 流動負債

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は91百万円であり、前連結会計年度末と比べ23百万円減少しました。これは主に、未払法人税等が12百万円減少したことによるものであります。

### ④ 固定負債

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は11百万円であり、前連結会計年度末と比べ0百万円増加しました。

### ⑤ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,139百万円であり、前連結会計年度末と比べ75百万円増加しました。これは主に、自己株式の処分による自己株式の減少（純資産は増加）137百万円および資本剰余金の減少89百万円、利益剰余金の増加15百万円、為替換算調整勘定の増加11百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、令和6年2月14日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和6年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	781,347	888,657
売掛金	215,927	152,191
商品	10,920	-
仕掛品	1,953	20,228
原材料及び貯蔵品	116,396	86,342
その他	18,283	27,239
流動資産合計	1,144,828	1,174,659
固定資産		
有形固定資産	13,069	13,803
無形固定資産		
ソフトウェア	1,623	812
その他	1,635	1,439
無形固定資産合計	3,258	2,252
投資その他の資産		
投資有価証券	-	13,500
繰延税金資産	3,811	10,079
敷金及び保証金	16,675	19,886
その他	8,012	8,012
投資その他の資産合計	28,499	51,478
固定資産合計	44,828	67,534
資産合計	1,189,656	1,242,193

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和6年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	23,050	14,258
未払法人税等	12,831	769
前受収益	14,248	7,591
賞与引当金	2,489	10,451
その他	61,927	58,235
流動負債合計	114,546	91,306
固定負債		
資産除去債務	5,455	5,518
繰延税金負債	5,521	5,807
固定負債合計	10,977	11,325
負債合計	125,523	102,631
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	1,331,461	1,241,960
利益剰余金	△139,956	△124,354
自己株式	△166,943	△29,860
株主資本合計	1,034,562	1,097,745
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△727	136
為替換算調整勘定	30,298	41,680
その他の包括利益累計額合計	29,570	41,816
純資産合計	1,064,132	1,139,561
負債純資産合計	1,189,656	1,242,193

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年1月1日 至 令和5年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年9月30日)
売上高	582,890	562,575
売上原価	289,824	252,325
売上総利益	293,065	310,250
販売費及び一般管理費	300,714	299,432
営業利益又は営業損失(△)	△7,649	10,817
営業外収益		
受取利息	138	191
助成金収入	136	138
為替差益	12,515	2,633
その他	23	5
営業外収益合計	12,815	2,969
経常利益	5,166	13,786
特別利益		
固定資産売却益	-	42
特別利益合計	-	42
特別損失		
固定資産除却損	178	-
和解金	146,801	-
為替換算調整勘定取崩損	-	2,260
特別損失合計	146,979	2,260
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△141,813	11,568
法人税等	11,232	△4,032
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△153,045	15,601
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△153,045	15,601

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年1月1日 至 令和5年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△153,045	15,601
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△593	864
為替換算調整勘定	7,461	11,381
その他の包括利益合計	6,867	12,245
四半期包括利益	△146,177	27,847
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△146,177	27,847

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 令和5年1月1日 至 令和5年9月30日）及び当第3四半期連結累計期間（自 令和6年1月1日 至 令和6年9月30日）

当社グループは、ソフトウェア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年1月1日 至 令和5年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年9月30日)
減価償却費	5,890千円	4,846千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社グループは単一セグメントであります。事業といたしましては、テクノロジーライセンス事業、DXサービス事業、GXサービス事業の3事業から構成されており、顧客との契約から生じる収益を分解した情報に関しましては、事業別で開示しております。

各事業の概要は、「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明」を参照ください。

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年1月1日 至 令和5年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年9月30日)
顧客との契約から生じる収益	582,890	562,575
テクノロジーライセンス事業	508,723	444,371
DXサービス事業	74,166	99,038
GXサービス事業	—	19,165
その他の収益	—	—
外部顧客への売上高	582,890	562,575

(重要な後発事象)

該当事項はありません。